十九番

曲亭馬琴 編
葛飾北斎 画

幸坂

曲亭馬琴 編
位中臨 居

白藤

君とかたらの道もくよくおさ
まり閨そひさし 柳光も窗
今小夜の名残下なる梅も江
川ぞひの桜も白く見ゆるかな

禅九 佐閑居 曲出一ノ程 陳

和

第二第三の法

ひとそ　半行
もいふ法師一見うまし
てひらがなをうつくしく
めでくびねもて
もてそこの國人そ花のの
名おそそぐをいひそれ
ふに名よおもしろき文

いとうたてこしの
こにはかりのたくひ
花のりのまぶ
してぞりつさ
なのつよへやお
まそこ河原
もろ社あいぜ
ろもとへ乃等人の

「
そるふおあ八指のぞうへよはりふさ
ひてぞをのゆ
こ
ゆやとふひそもあ
かくらぶともかおはさすかうぴ
つとさひ八指やこのろみそこお
なぐらとよねそとう

後鏡

二人静　曲出一拍子ト儿
位中　立

宵

十六

右此本者観世左近之
八章句鴈之一節加當流
秘蜜悪令改正者也

千団元禄十丁丑年　林鐘日

寺田通二條上ル町

寺田与平